



今回の
アイデア

押し花を使って小物づくり

ちょっとした工夫で、目からウロコ。暮らしが便利になったり、楽しくなったり、エコにつながったり。そんな暮らしにまつわるさまざまなアイデアをお届けします。今回は、西東京市在住の百瀬正子さんに、押し花を使ったアイデアを伺いました。

① 押し花を作りましょう

まずは花びらや草を集めましょう



ポイント なるべく厚みのない平らな花や草を選びましょう

花を乾燥させる

・乾燥シートに花を挟み、上に4~5kgの重し(新聞や雑誌の束など)を載せます。



室内の日の当たる場所に

ポイント 乾燥シートを使うと色鮮やかな仕上がりに(手芸店などで販売しています)

出来上がりまで(5日~1週間出来上がり)



② 押し花を使って小物作り!

・しおりやはがきも作りましょう



配置を決めたら木工用ボンドで貼付ける

ポイント 色のバランスも考慮し配置します

配置が終わったら透明フィルムを貼って出来上がり!

透明フィルム 図書館の本のカバーなどに使用されているものです。



色紙などに押し花を配置すると楽しい飾りにも

今回のアイデア提供者

ももせまさこ
百瀬正子さん

毎月第2水曜日、武蔵野市で活動している「花工房押し花絵」の講師。生涯学習インストラクターでもあり、各地区の社会教育の場で活躍しています。



あなたの“暮らしのアイデア”を募集します!

皆様のご家庭での“暮らしのアイデア”を募集します。採用された方は、このコーナーでイラストを交えて紹介させていただきます。郵送、FAXまたはEメールにて、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、「暮らしのアイデア係」あてにご応募ください。

郵送 〒180-8777 武蔵野市役所広報課 FAX 0422-55-9009

Eメール sec-kouhou@city.musashino.lg.jp

※採用された方には編集部から連絡をさせていただきます。ご協力いただいた方の個人情報は、他の目的に利用しません。

季刊 むさしの

第98号(2012春の号)
平成24年3月21日発行

- 取材・コピー/山口剛、柳澤美帆、さくらい伸
- 撮影/遠藤直次、中西多恵子、石原敦志
- デザイン/株式会社タクトデザイン事務所
- 編集・広告/株式会社文化工房
- 企画・発行/武蔵野市
- 印刷/株式会社雄進印刷
- 問い合わせ先 武蔵野市企画政策室広報課 ☎0422-60-1804



読者からのお便り 第97号(2011年冬号)より

『季刊むさしの』についてのご意見・ご感想・まちの話題など。

中学生記者で紹介されたNTT技術史料館。ぜひ予約して行ってみたいです!
(40代女性 関前)

歴史や市内の施設などの情報がバランス良く載っていて良いです。
(10代女性 小金井市)

戦争中から武蔵野市民になって60年以上。武蔵野の発展ぶりは素晴らしい。長生きしたおかげで楽しんでいます。
(80代女性 吉祥寺南町)

息子が武蔵小金井に一人住まいしていて、毎年冬ごろに訪ねています。いつも季刊「むさしの」を楽しみにし、持ち帰っています。

(60代男性 和歌山県)

私が住んでいるのは、武蔵境駅や武蔵野プレイスの近くですが、まちがこんなにも開発が進んでいて、とても驚きました。
(10代女性 関前)

◎お詫び: 2011年冬号17頁の武蔵境駅周辺の地図中、市道第292号線の位置が誤っていました。お詫びいたします。